イソキサチオン粉剤

カルホス粉剤

取扱メーカー:

ホクサン,一農,日本曹達,琉産

原体メーカー:

保土谷 UPL

成分: イソキサチオン〔有機リン系 PRTR・1種〕 ·······2.0%

性状:類白色粉末45 µ m 以下 毒性:普通物

毒性:普通物 消防法:——

- ●接触毒と食毒により殺虫効果を発現する。
- ●広範囲の殺虫スペクトラムを持っており、各種 害虫に対する防除適期幅も比較的広く使い易い。
- ●活性持続効果は長いが,作物への吸収移行はほ とんどみられない。
- ●土壌中での安定性は中程度で適度の残効性を有する。
- ●有機リン剤のなかでは悪臭や刺激性が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………

〈は種・植付時処理〉

- ●地表全面に均一に散布し、土壌とよく混和する。
- ●作条処理の場合はは種する作条になるべく幅広 く散布し、土壌とよく混和する。
- ●植穴処理はしない。
- ●土壌混和の際は5cm位までよく混和する。
- ●土壌水分が多いほど速効的である。乾燥条件下では薬剤が土壌に吸着され効果が劣る場合があるので注意する。

- ●ネキリムシなどは発芽後、植付後の幼植物を加 害するので、移植の場合はそれぞれは種前、植付 前の2回施用する方がより有効である。
- うどのセンノカミキリ防除の場合は地際部によくかかるように散布する。
- ●いちごに使用する場合,仮植床全面に均一に散布し、表土とよく混和する。

【薬効・薬害等の注意】 …………

●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項 を参照。

●つまみ菜、間引き菜には使用しない。





【適用と使用法】……

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
だ い こ ん はつかだいこん	タネバエ ネキリムシ類		は種時	1回		1回
はくさい キャベツ ね ぎ	ネキリムシ類	6 kg	は種時 又は 植付時	2回以内	· 土壌表面散布 土壌混和処理	4回以内 (は種時は1回 以内, 植付時は 1回以内, 植付 後は2回以内)

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
わあレ非結 マートミな	ネキリムシ類	6 kg	は種時 又は 植付時	2回以内	土壌表面散布 土壌混和処理	2回以内
き ゅ う り ほうれんそう	タネバエ	$4\sim6~\mathrm{kg}$			播溝土壌混和	
な ば な 類 (オータムポ エムを除く)	ヨトウムシ類	6 kg	は種時	1回	土壌表面散布土壌混和処理	1回
オータムポエム	ネキリムシ類		定植時		土壌表面散布	
だ い ず	タネバエ	$4\sim6~\mathrm{kg}$	は種時		作条施用 土壌混和	2回以内
	ネキリムシ類		は種時又は 定植時	2回以内		
		4 kg	は種時~ 本葉2葉期		土壌表面散布	
えだまめ	タネバエ ネキリムシ類	$4\sim6~\mathrm{kg}$	は種時	1 🗆	作条施用	5回以内 (粉剤及び粉粒剤 のは種時の処理は 合計1回以内,粉 剤及び粉粒剤の定 植時の19以一 内,粉剤の11度表 面散布は1回以 粒剤の土壌表面散剤の土壌表面 大処理は2回以内)
	ネキリムシ類		定植時		土壌混和	
		4 kg	は種時~ 本葉2葉期		土壌表面散布	
豆 類 (種実, 但し, だいずを除く)	タネバエ ネキリムシ類	$4\sim 6~\mathrm{kg}$	ー は種時 ー 植付時		作条施用土壌混和	1回
さやえんどう 実えんどう	コガネムシ類幼虫	9 kg				
さやいんげん	タネバエ	6 kg				
い ち ご (仮植床)	コガネムシ類幼虫	9 kg			土壌表面散布 土壌混和処理	
う ど	センノカミキリ	6 kg	成虫飛来 初期~盛期	5回以内	散布	5 回以内
ほうきぎ	ネキリムシ類	6 ~ 9 kg	定植時	1 🗉	株元散布	1 🖂
たばこ			植付前		土壌表面散布 土壌混和処理	2回以内